

2023年5月30日

東急不動産株式会社

広域渋谷圏の新複合施設「Forestgate Daikanyama」 賃貸住宅にて豊かな新しいライフスタイルを提案

～サーキュラーエコノミー活動「CIRTY（サーティー）」も始動～

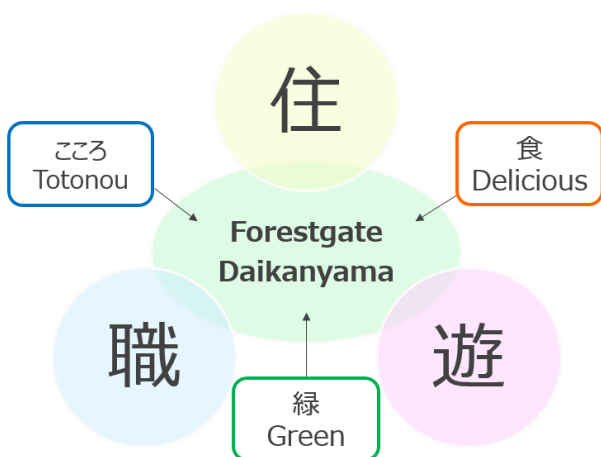
東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：星野 浩明）は、渋谷区代官山町にて推進中の新しい複合施設「Forestgate Daikanyama（フォレストゲート代官山）」を、豊かな新しいライフスタイルを提案する物件と位置づけ、MAIN 棟に位置する賃貸住宅における「ライフスタイル提案住戸」の計画をお知らせいたします。

本物件は代官山駅至近かつ八幡通り・代官山通りに面するフラッグシップ性のある立地に、賃貸住宅・シェアオフィス・商業施設で構成される MAIN 棟とサステナブルな生活体験を提供する TENOHA 棟の 2 棟からなる、2023 年 10 月下旬に開業予定の新しい複合施設です。MAIN 棟の「ライフスタイル提案住戸」では、本物件において提案したいライフスタイルを支えるキーワードにご共感頂いた著名な 3 名のパートナーと、それぞれのテーマに基づき 3 つの住戸を企画しております。

また、TENOHA 棟は新しいライフスタイルに欠かせない「サステナブル」活動拠点とし、本物件に入居する住民や事業者、周辺の住民、来街者など多様なメンバーが参加する活動「CIRTY（サーティー）」を始動します。誰もが気軽に参加できるマルシェやイベント・ワークショップなどを通じ、サーキュラーエコノミーを身近に考えるきっかけの場を作ります。活動を通じ、同じ想いを持った仲間が増えることでコミュニティを形成し、サステナブルを発信するハード・ソフトの一大拠点となることをめざしています。

代官山はこれまで時代に合わせた変化を柔軟に受け入れてきた、独特の存在感と個性を放つ街です。本施設の『職・住・遊 近接』という特徴を生かしたコンセプト性の高い賃貸住宅の提供や、サステナブルプラットフォームへの誘導により、豊かな新しいライフスタイルを提案してまいります。

■ 3つのキーワードでパートナーと描く「ライフスタイル提案住戸」



MAIN 棟に位置する賃貸住宅では、全 57 戸、1LDK～3LDK・メゾネットまでの多様なライフスタイルに合わせた住戸をご用意しております。

MAIN 棟は『職・住・遊 近接の新しいライフスタイル』の提案をコンセプトとしています。暮らしを拓げる実験的な取り組みとして、新しいライフスタイルを支える価値軸である 3 つのキーワードに精通した 3 名のパートナーと各 1 戸の「ライフスタイル提案住戸」を作り上げます。

- ・隈研吾氏 『こころ/With Totonou』
- ・齊藤太一氏 『緑/With Green』
- ・平野紗季子氏 『食/With Delicious』

この「ライフスタイル提案住戸」は、通常の賃貸住宅で重視される間取りや設備といった機能性やスペックだけではなく、居住者のこだわりや価値観を支え、拡げてくれる暮らしを提案します。この街、この施設に魅力を感じ、暮らしの拠点としていただく方々の豊かで新しいライフスタイル実現に貢献してまいります。

さらに、立体的な森を想起させる特徴的な外観デザインの本物件は、施設側で管理する植栽計画により、この「ライフスタイル提案住戸」のほか、一般住戸にお住いの皆様も、バルコニーを介して住戸空間から常に緑が感じられる、都会の中でも自然に親しんでいただけるような住戸とする計画です。

レジデンスホームページ URL : <https://www.forestgate-daikanyama.jp/residence/>

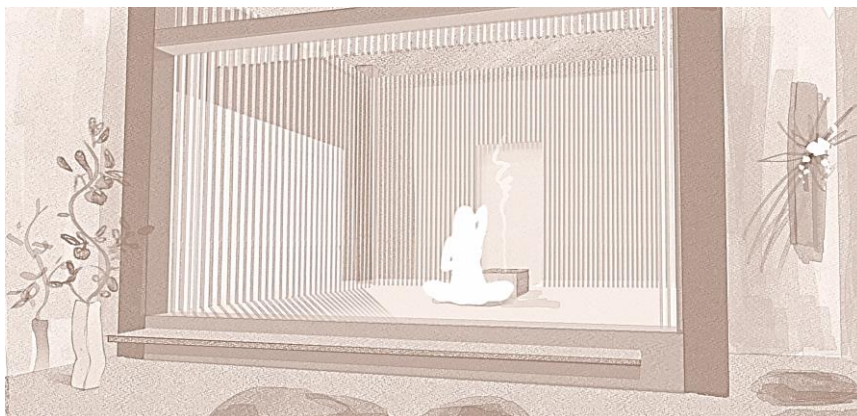


一般住戸イメージ

パートナー① 隈研吾：こころ/With Totonou『半分くつろぎ半分整う家』

Forestgate Daikanyama では「職・住・遊 近接の新しいライフスタイルの提案」を行い、異なるシーンがシームレスに融合することをめざしています。シームレスな融合により ON と OFF の境界が曖昧になり、劇的に移行行く時代の流れの中において、自分自身（こころ）と向き合う究極の OFF 空間が求められていると考えました。本物件のデザインを手掛ける隈研吾氏と共に、贅沢な時間が流れる計画を提案します。

【施策内容】外界と少し切り離された印象の抽象的な空間とし、自らと向き合い精神が研ぎ澄まされる。



イメージスケッチ



イメージ写真

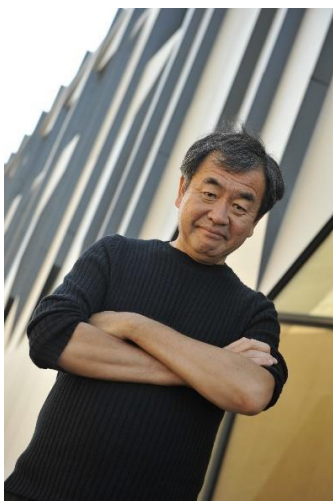


Photo (c) J.C. Carbonne

1954 年生。東京大学大学院建築学専攻修了。1990 年隈研吾建築都市設計事務所設立。東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授・名誉教授。1964 年東京オリンピック時に見た丹下健三の代々木屋内競技場に衝撃を受け、幼少期より建築家を目指す。大学では、原広司、内田祥哉に師事し、大学院時代に、アフリカのサハラ砂漠を横断し、集落の調査を行い、集落の美と力にめざめる。コロンビア大学客員研究員を経て、1990 年、隈研吾建築都市設計事務所を設立。これまで 20 개국を超す国々で建築を設計し、(日本建築学会賞、フィンランドより国際木の建築賞、イタリアより国際石の建築賞、他)、国内外で様々な賞を受けている。その土地の環境、文化に溶け込む建築をめざし、ヒューマンスケールのやさしく、やわらかなデザインを提案している。また、コンクリートや鉄に代わる新しい素材の探求を通じて、工業化社会の後の建築のあり方を追求している。

【コメント】

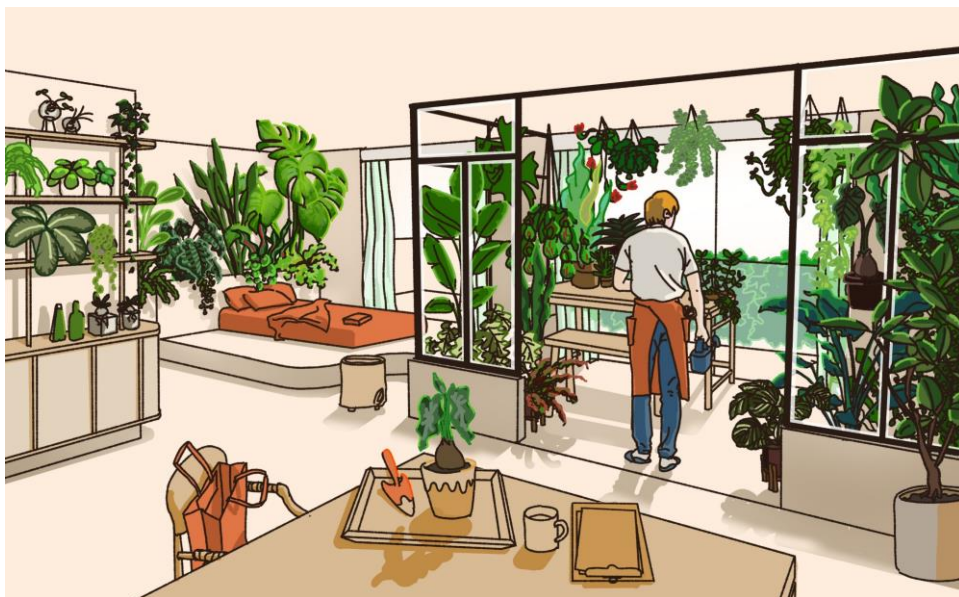
今コロナによって都市や建築も大きな転機を迎えている。従来の、都心部に高層ビルを建てるのが目標の時代は終わりを告げ、新しい分散の形を人々は模索し始めている。

コンセプト住戸では、新しいライフスタイルに合った、新しく自由で柔らかな建築、柔らかな住まいというものを追求した。室内にはギャザー加工を施した布を用いて、布の洞窟のような空間を創った。集合住宅の中に、柔らかくヒューマンな、未来のスペースができた。

パートナー② 齊藤太一：緑/With Green『好きな植物と共に暮らす家』

Forestgate Daikanyama は、ランドスケープを始めとして共用部分でも緑をふんだんに感じる計画としております。本住戸においては、その魅力を最大限に満喫できる、「暮らしの中でも緑を感じられる住戸」を提案しております。本物件のランドスケープデザインを手掛ける DAISHIZEN 代表の齊藤氏をパートナーとしました。

【施策内容】 サンプルームにより内と外の境界線が溶け合い、自然を感じられる素材感に包まれる空間。



イメージスケッチ



イメージプラン



造園家・グリーンディレクター・株式会社 DAISHIZEN 代表取締役

岩手・花巻生まれ、15歳からガーデンデザインを始める。高校時代にフランク・ロイド・ライトの「落水荘」を本で見たのをきっかけに、植物と建築、暮らしが調和した空間作りを志すように。東京・青山の園芸会社でグリーンコーディネーターや造園などの仕事に8年従事したのち、2011年、株式会社 DAISHIZEN 設立。グリーンデザイン『SOLSO』のディレクターとして住宅や商業施設、オフィスなどのインドアグリーンやランドスケープデザイン、ライフスタイルに寄り添うグリーンを提案するショップやファームの運営などを手がける。2020年サーキュラーデベロップメント株式会社 RGB を設立。Forestgate Daikanyama ランドスケープ、TENOH 棟の企画、運営にも関わっている。

【コメント】

「森の中にある隠れ家のような空間」
そこには自然と共にある暮らしがあります。

仕事をしたり、趣味を楽しんだり、友人を招いて食事をとったり。
何気ない日常が緑と緩やかに繋がり、毎日を彩ってくれる。
小さな豊かさのあるライフスタイルを楽しんでいただければと思います。

パートナー③ 平野紗季子：食/With Delicious『Allday Dinnig House』

衣食住の重要な要素である「おいしい食事」を味わうことへのこだわりを追求することは、豊かな人生を追求することと同義であると考え、「豊かな新しいライフスタイル提案」に欠かせないものだと考えました。「おいしい食事」をこよなく愛し、その魅力を発信するフードエッセイスト平野氏と共に、24 時間食事を満喫できる住戸を計画しました。

【施策内容】 食卓を暮らしの中心とし、食へのこだわりや魅力を、住空間の中で実践・発信できる住戸。



左：イメージスケッチ
右：イメージ写真



フードエッセイスト/フードディレクター

1991年生。慶應義塾大学法学部卒。小学生から食日記をつけ続け、慶應義塾大学在学中に日々の食生活を綴ったブログが話題となり文筆活動をスタート。雑誌・文芸誌等で多数連載を持つほか、ラジオ/podcast 番組「味な副音声」(J-WAVE)のパーソナリティや、NHK「きみと食べたい」のレギュラー出演、菓子ブランド「(NO) RAISIN SANDWICH」の代表を務めるなど、食を中心とした活動は多岐にわたる。著書に『生まれた時からアルデンテ』(平凡社)、『味な店 完全版』(マガジンハウス) など。

【コメント】

食の幸福を常に中心に置いた生活を長らく送ってきました。食を愛することは人生を愛することと同義であり、食の喜びによって私の人生は明るく照らされてきました。食べ物には感謝しかありません。このたび、朝起きてから寝るまでのいかなる食の時間も逃さず、その一つ一つに心を動かして生きていくことが叶う住戸を計画できたことを大変嬉しく思います。朝陽をたっぶり浴びながらの朝食から、深夜のベッドでのアイスクリームまで。食を愛するすべての人にとってきっと夢のような物件が、人と食との関わりや、食を通じた人と人、あるいは人と街との関わりを、更に豊かなものへと更新していくことを願っています。

■ サーキュラーエコノミー活動「CIRTY（サーティー）」始動

カフェとイベントスペースで構成されるサステナブル活動拠点「TENOH A 代官山」では、サーキュラーエコノミー活動を行う事業者などと連携するため「CIRTY（サーティー）」を始動いたします。

「サステナブル」への取り組みは、新しいライフスタイルの不可欠な基盤です。サーキュラーエコノミーの実現と拡散には既存のネットワークに固執することなく多様なステークホルダーと連携し、コミュニティ形成を目的としたプラットフォーム化が促進のカギになると考えました。

「CIRTY」はSDGsに貢献することはもちろんのこと、サーキュラーエコノミーに関する人・モノ・アイデアが集まるリアルな場（TENOH A 代官山）と情報発信メディアの2つを軸とした活動を推進してまいります。誰もが気軽に参加できるマルシェやイベント・ワークショップ他を通じて、サーキュラーエコノミーを身近に考えるきっかけの場を提供し、そこで得た気づきから起こる次の行動が、コミュニティ形成につながり、同じ思いを持った人たちが広がっていくことをめざします。

CIRTY ティザーサイト：<https://cirty.jp>



CIRTY 活動概念図



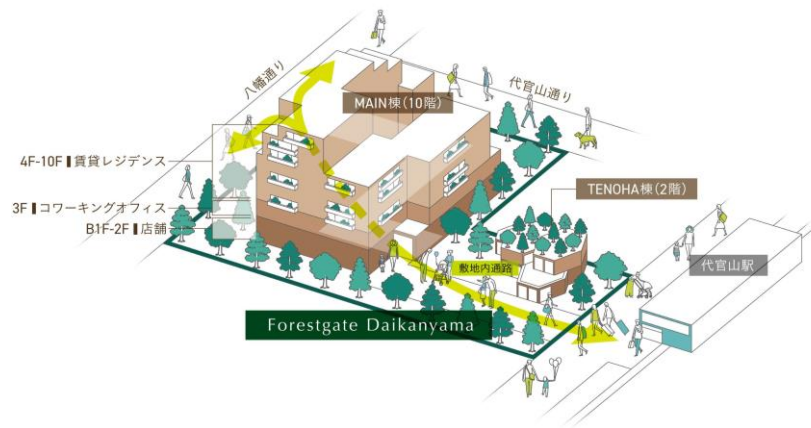
代官山駅側から見た TENOH A 代官山のイメージ

■ 施設概要

施設名称 Forestgate Daikanyama (フォレストゲート代官山)
 開業日 2023年10月下旬



位置図



敷地概念図

【MAIN 棟】



住 所 東京都渋谷区代官山町 119 番他 (地番)
 敷地面積 約 4,084 m²
 延床面積 約 21,096 m²
 構造規模 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
 地上 10 階、地下 2 階
 用 途 賃貸住宅、店舗、事務所、駐車場
 基本設計 隈研吾建築都市設計事務所
 実施設計 株式会社竹中工務店・株式会社東急設計
 コンサルタント 共同企業体
 施 工 者 株式会社竹中工務店
 ランドスケープ 株式会社 DAISHIZEN
 デザインメント 株式会社日建設計、マイオ建築研究所

【TENOKHA 棟 (TENOKHA 代官山)】



住 所 東京都渋谷区代官山町 344-1 (地番)
 敷地面積 約 422 m²
 延床面積 約 198 m²
 構造規模 木造 2 階
 用 途 店舗、集会所
 企 画 RGB Inc.
 設 計 一級建築士事務所 SUEP.
 施 工 者 株式会社青木工務店

■ 広域渋谷圏における東急不動産の取り組み「PROJECT LIFE LAND SHIBUYA

「PROJECT LIFE LAND SHIBUYA」は、「人と、はじめよう。」をコンセプトにした、広域渋谷圏における東急不動産の取り組みです。多様な人や企業との共創や、交流の仕組み・場づくりを通じて「創造」「発信」「集積」を循環させ、共感する人や企業とパートナーシップやアライアンスを構築していきます。

当社は、2024年度までに渋谷桜丘、原宿・神宮前、代官山、代々木公園エリアで4つのプロジェクトの開業を予定しています。広域渋谷圏におけるエリアを連携させ、長期的な視点のもと、まちの魅力を高めていきます。



PROJECT LIFE LAND SHIBUYA



HP : <https://life-land-shibuya.com>

広域渋谷圏のまちづくり

HP : <https://www.tokyu-land.co.jp/urban/area/shibuya.html>

■ 長期ビジョン「GROUP VISION 2030」でめざす、「環境経営」と「DX」の取り組み

東急不動産ホールディングスは2021年に長期ビジョン「GROUP VISION 2030」を発表しました。多様なグリーンの方で2030年にありたい姿を実現していく私たちの姿勢を表現する「WE ARE GREEN」をスローガンに、「環境経営」「DX」を全社方針として取り組んでいます。

中核企業である東急不動産では「環境先進企業」をめざして様々な取り組みを積極的に進めており、2022年末には事業所及び保有施設*の100%再生可能エネルギーへの切り替えを完了しました。

※一部の共同事業案件などを除く

《 貢献する SDGs 》



東急不動産ホールディングス「GROUP VISION 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>

東急不動産ホールディングス「中期経営計画 2025」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/mgtpolicy/mid-term-plan/>